

「Udemy」を起点とした新たな成長への挑戦

社会と人生を豊かに

人生100年時代の中、現在の日本は欧米諸国と比べて、「人生を豊かにする学び」が不足しています。大学生はもちろん、社会人になっても学び続けることができ、それぞれが思い描くキャリアや生き方を叶える機会が生まれる、今の世の中に求められているラーニング・カルチャーを根付かせたい。そんな想いで、大学・社会人領域にある社会構造課題の解決に真正面から向き合っていくため、当社は2022年4月に「大学・社会人カンパニー」を新設し、そのパーパスを「一生涯の学びを通して、社会と人生を豊かに」と定義しました。

今、日本の「社会人」に必要なものは...

自律的にキャリアを拓く
スキルの習得

リスキルを評価・推奨する
組織風土の醸成

ラーニング・カルチャー＝誰もが主体的に学び続けられる文化

最新学習歴を誇れる社会へ

米国Udemy社との業務提携

「最新学習歴を誇れる社会」を実現するための取り組みの一つが「Udemy」です。当社は、2015年に世界最大級のオンライン教育プラットフォームを運営する米国Udemy社と事業提携。日本の社会人を対象に、世界水準の最先端スキルの提供を開始しました。「Udemy」は、世界中の「教えたい人（講師）」と「学びたい人（受講者）」をオンラインでつなぐサービス（以下、CtoC（個人間取引））で、スキマ時間にPCやスマートフォンなどからアクセスし、自分に必要な学習をすることができます。当社では、個人向けのプランの他、多岐にわたるビジネスに厳選した講座が受講できる法人向けサービス「Udemy Business」を展開しています。

世界最大級のオンライン教育プラットフォーム

〈個人向け〉

udemy

〈団体・組織向け〉

udemy business

国内1,300社以上の企業で導入、140万人以上の利用者数

当社が国内展開する「Udemy」の強みは、CtoCならではのコンテンツの提供スピード、実務に直結する講座体系、そして種類の幅広さです。テクノロジーはもちろん、コーチングや1on1に関する講座、メンタルヘルスの講座など、ビジネスコミュニケーションから健康まで、あらゆる分野で最先端の情報を得ることができます。例えば生成型AIに関するカリキュラムは、海外で話題になっているときからすでに講座がありました。加えて常に新鮮な情報へとアップデートされており、一歩先を学べる機会を提供しつづけることができます。これは、コンテンツを自ら企画して発信するというCtoCならではの特長でもあります。

2023年6月時点で、法人向けサービス「Udemy Business」は大手か

ら中小企業まで、国内1,300社超の企業様にご利用いただいております。個人向けサービスの「Udemy」と合わせて利用者は140万人を超えています。採択の理由の一つとしては、あらゆる業界の企業様が、DX人材の育成という共通課題を抱えているからと分析できます。また、コロナ禍以降オンラインによる研修方法を希望される場合が多く、柔軟な使い方ができる「Udemy」をお選びいただくことにつながっています。全国のどんな場所からも、高いクオリティのカリキュラムを学ぶことができるという「Udemy」の魅力の証でもあります。今後も業界や企業規模問わず、企業様にとってより使いやすい機能を整備することで、利用者様のニーズにお応えしてまいります。

》》 「Udemy」から発展した自治体リスキリングネットワーク

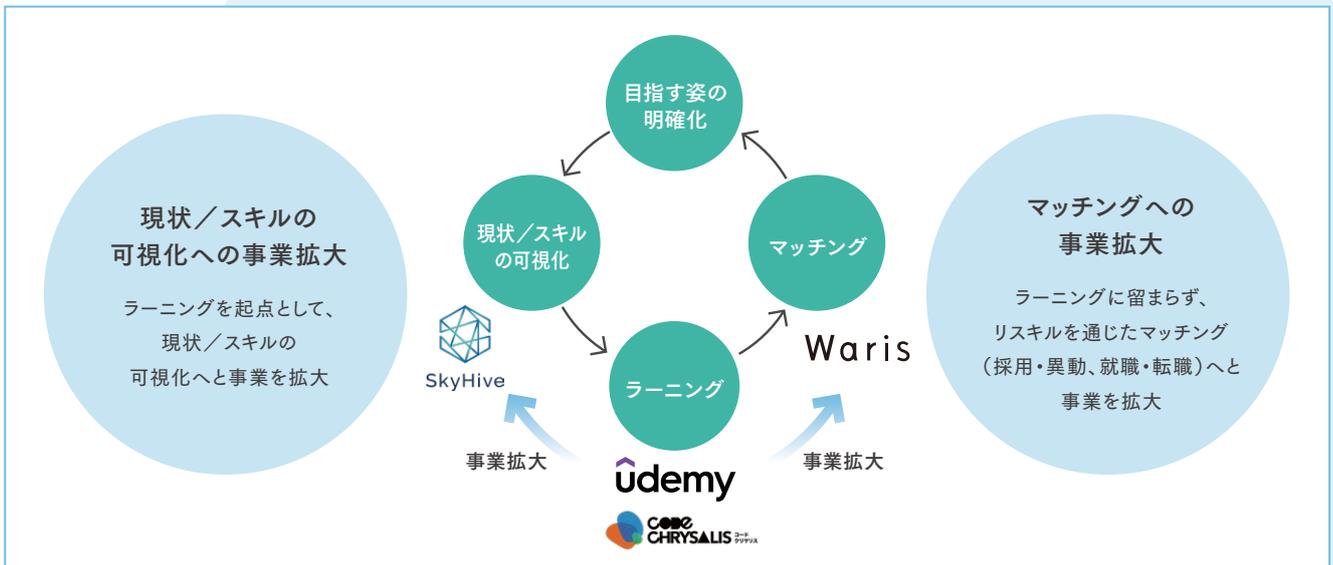
当社では、自治体様のリスキリングにも注目し、2023年5月「全国自治体リスキリングネットワーク」を設立しました。以前より自治体様にも「Udemy Business」を導入いただいていたのですが、その際に企業様とはまた異なる、自治体様ならではの課題が顕在化しました。それらへの対応策として、リスキリングにチャレンジする自治体様の知見やノウハウを共有し合うことができればという発想から始めたものです。

具体的な活動としては、リスキリングを行なっている自治体様の挑戦事例や成功事例などを自社発行の情報冊子で積極的に発信しています。また、著名人や専門家によるウェビナーを通じた情報提供や、自治体様同士のネットワーク強化に寄与する意見交換会なども実施しています。今後、このような取り組みはよりニーズが高まっていくでしょう。当社がその仕組みをご提供する架け橋となれればと考えています。

》》 リスキル支援を一気通貫で提供することが可能に

大学・社会人事業として目指す姿は、「Udemy」によって企業・個人のラーニング部分を担い、リスキル支援を行うことで、企業や個人のニーズをマッチングしていくことです。これは企業 (To B) や個人 (To C) に限らず、行政 (To G) や学校 (To S) においても需要が伸びている分野であり、当社が蓄積してきた豊富なノウハウを活かすことで確実に応え得る事業です。さらに、現在は「Udemy」を中心としたラーニングを起点に、SkyHive社への

出資、Waris社のグループインを実現することで事業を拡大しています。SkyHive社は、世界最大級の労働市場情報のデータベースを保有する企業で、スキルの可視化の事業を担います。Waris社は、女性のリスキルを通じたマッチング (採用・異動、就職・転職) へと事業を拡大させる重要なポイントとなる企業です。これにより、人的資本経営に必要なすべてのリスキル支援を一気通貫で提供可能となります。



》》 理想的なラーニングカルチャーの先の可能性

2022年10月、政府がリスキリングに対して5年で1兆円の投資をすと表明しました。これは「Udemy」を起点とした当社の事業の追い風となることでしょう。大人の方々が学びたいと思った時に、気軽に、手軽に、しかも実践的で実用的な学びが手の届くところにある。そんな理想的なラーニングカルチャーを、私たちは

「Udemy」を通して、築き上げていきます。また、その先には、「Udemy」を通じて得られるデータを活かしたビジネスモデルも考えられます。どんな人が、どんな学びに関心を示し、実際にどう行動したか。そのデータから展開できる事業の可能性は計り知れないものがあると考えています。

「最新学習歴を誇れる社会」を叶えるために。

ベネッセコーポレーション
 社会人教育事業本部 本部長
 Udemy日本事業責任者
 飯田 智紀



》》》 ベネッセの底力を証明した「Udemy」の立ち上げ

「Udemy」はグローバルパートナーとの新規事業開発であり、一般的には多くの日系企業が苦戦しているビジネスモデルでもありました。もちろん私たちも「Udemy」の立ち上げまでには時間も労力もかかり、試行錯誤をしていた時期が1年弱ほどありました。当初は「Udemy」の国内展開を含めて13件ほどの新規事業プロジェクトに取り組んでいましたが、その中でも「Udemy」は手応えを感じ

たプロジェクトの一つです。その後、実際に多くの企業様や個人様に採択いただけるプラットフォームへと成長しました。結果的に、新しい連携によるイノベーションを可能にする能力、かつそれを新規事業で立ち上げられる能力がベネッセにあるということを立証できたと思います。

》》》 私たちは社会的な価値創造を担っていく企業

おかげさまで変革事業計画を発表して以来、多くの企業様からお問い合わせをいただいています。この度の変革事業計画によって、どういうビジョンをどう実現していくかとしているのかを示すことができたと思っています。今後、複数の企業様との連携が実現した場合には、ベネッセがどんな役割を担っていくかをさらに突き詰めて考えていきたいです。「Udemy」の場合は、コブランディングというスタイルで、ベネッセと「Udemy」を併記しています。時には黒子として、時には前に出てと、使い分けながら対応していくことが大事であると考えています。そういった

意味では「最新学習歴を誇れる社会」という理想が結実した時、それをベネッセの功績だと言われなくても良いと思っています。つまり、世の中の理想を実現するための下支え的存在や、社会全体のウェルビーイングの実現をサポートする役割を、私たちベネッセが担っていく。それも一つのベネッセの在り方ではないかとも思うのです。もちろん企業体ですから、社会的な価値創造を果たしつつ経済的な価値がついてくるのが理想です。



》》》 人的資本経営の実現をワンストップで支えていきたい

私たちは今、「最新学習歴を誇れる社会」を目指すために、学びのインフラを構築していこうと取り組んでいます。「Udemy」を起点に、大学・社会人事業の基盤をつくり、領域を次第に広げていく。これによって多くの企業様が抱える課題「人的資本経営の実現」についても、当社がワンストップでご支援できると考えています。これからの私たちにぜひご期待いただきたいです。

